

セミナー報告

令和7年度 男女共同参画セミナー①

『ワーク・イン・ライフ』～自分らしい生き方を見つける～



令和7年6月21日(土) 10時～12時

講師 **納富昌子**さん (RKB 毎日放送エグゼクティブアドバイザー)

【講師プロフィール】

1976年 RKB 毎日放送入社。全国初の女性放送記者として現場を経験し、1985年から2000年までニュースキャスターを務める。インタビュー番組は30年に達した。ハーバード大学のマイケル・サンデル教授を母校西南学院大学に招聘するなど地域貢献イベントを手がける。局長職から役員待遇を経て、2016年定年退職。大学での講義、公民館、働く婦人の家他各地で講演多数。2024年西日本新聞にジェンダー平等をテーマに「一歩前へ 女性進化論」を17回連載。現在は、事業構想大学院大学客員教授、筑紫女学園大学理事。

《セミナー概要》

全国初の女性放送記者として長年にわたり第一線の報道現場で活躍してこられた講師自身の実体験を交えながら、「ワーク・イン・ライフ（生活の中にある仕事）」の視点から、ジェンダー問題、働き方、地域社会の課題などについて幅広くお話しいただきました。講師の歩んできた時代背景を起点に、社会の変化と未解決の課題、そしてこれからの私たちがどう向き合っていくべきか、多くの気づきと学びが得られる内容となりました。

当時(約50年前)の日本社会では「男は仕事、女は家庭」という価値観が当然とされ、女性が育児と仕事を両立することは極めて困難で、不安や迷いを抱えながらも、自らロールモデルのない道を切り拓いてこられたとのことでした。法制度が整ってきた現在でも、地域によっては男女平等への意識が追いついていないのが現実で、特に九州などの地方では、根強い価値観の違いが残っており、制度改革と意識変容の両輪が必要であると語られました。

また、「多様性」の本質にも言及され、性別に限らず、障がい者や高齢者など、多様な人々が共に生き、活躍できる社会の重要性を説かれ、「人には選択肢があり、自分でそれを選べることが大切」という言葉は、多くの参加者の心に響きました。

さらに、「結婚はコスパが悪い」「将来が見えない非正規雇用」など、現代の若者が感じている不安にも触れ、社会的な支え合いの仕組みが薄れる中で、個人が孤立しないための仕組みづくりの必要性が強調されました。

「一歩前へ出る勇気」「変化を待つのではなく、自らが動き出すこと」こそが、社会を変える原動力になるというメッセージは、参加者一人ひとりの行動を促す力強い呼びかけでした。

最後に、健康長寿を支える生活習慣として「歩くこと」「人と話すこと」「コミュニティをつくること」が挙げられ、地域とのつながりが心と体の健康を支えるという実感に基づいた提言で講演は締めくくられました。

講師の語られたひとつひとつの言葉には、ご自身の体験からくる重みと誠実さが込められており、多くの参加者が共感し、勇気づけられる内容で、「仕事か家庭か」と選択を迫られるのではなく、「どちらも大切にしたい」という思いが、より多くの人にとって実現できる社会へと変わっていくために、私たち一人ひとりができることを考える機会となり、「ワーク・イン・ライフ」という考え方の意義と、その実現に向けた課題、そして希望を見出すヒントを得ることができました。

《受講生の感想》 ※抜粋

- ・「納富先生の生き方・考え方に共感しました」学びのセミナーでした。同世代でありながら、生きて来たプロセスが全く違っていたが、話が楽しく、面白い。又、自立して、独立した価値観をもって、自分らしく生きてこられたことに心からリスペクトします。これからどう生きるか？を改めて考えさせられました。すてきなセミナーでした。ありがとうございました。
- ・納富氏の魅力と人間力を真近で感じる事ができて、とてもありがたかったです。今日感じた感動と憧れの気持ちを大切に、仕事・社会貢献活動に活かしてまいります。
- ・さすが元アナウンサーの方。難しい話も楽しく笑いとともに話して下さり、とてもひきこまれました。自分の判断力・広い視点・片よりのない意見を持てるように情報を得ていきたいと思われました。
- ・とても興味深い内容で、しかも楽しく拝聴しました。最近の時代情勢に関するお話もとてもわかりやすく楽しい説明でした。納富さん本当に素晴らしかったです。
- ・時事に合わせた講師の率直な思いが伝わってきました。情報リテラシーを磨いて、世の中にはいろんな玉石混在する情報を自分で判断する事が大事と思いました。
- ・全然お歳を感じさせないハツラツとしたお話、感動しました。ユーモアたっぷりの講演。時間があっというまに過ぎてしまいました。
- ・多岐にわたる内容、とても面白かった。話しのテンポが良くてあっという間に時間が過ぎました。知性を磨きつづける事、本当に大事だと思いました。
- ・講演会というものに、久し振り（何十年振り）に参加し、刺激になるものが沢山ありました。トークも面白く、退屈せず、楽しくもありました。
- ・過去からの変化、今の現状、問題点などわかりやすく教えていただきました。もやもやしていることがすっかりした気分です。ことばがはっきり大変聞きやすかったです。（さすが長年報道にたずさわってこられた方だからですね）
- ・話しのテンポ良く身近な話題から話が進み、聞き易かった。自分の生活を元に仕事をする。
- ・現実を楽しく、きびしく話してもらえて楽しかった時間。なおかつ仲間に話して伝えたい情報沢山でした。
- ・身近な話題をいれながらわかりやすく話をされていた。自分で考えて判断する必要性を考えさせられた。
- ・人として輝いて生活できるようコミュニケーション能力をみがき人と交わって生きてゆきたい。
- ・全く私が考えていた講座と違い驚いています。（とても良い意味です）私が、日々悩んでいたこれからの未来（子どもは未来が持論なので）この世界状況の中での個人の行動をどの様にしたら良いのか等、たくさんの助言、なんか頑張ろうと思いました。
- ・昨年より健康経営に取り組んでいる会社に勤め5年になりますが、感謝を忘れずたいと思います。
- ・とても勉強になりました。いい時間でした。
- ・小気味いいトークで、私たちが仲間とぶっちゃべっている内容をもっとわかりやすく知的にポンポン話して下さって、とても面白かったです。1年に1度位、時事放談をして招いてほしいです。
- ・とても満足!!世界の平和についての話が一番惹かれました。※お笑いとグルメ報道は批判＝私も同じ。
- ・映像の世界などいい番組もある同じ感想。情報の選択がきちんと出来るようになることが大事!!その通りだと思いました。
- ・とても愉快でした。よく言ってくれました。スカッとしました。これまでになかった講師・内容で、今後に期します。
- ・話しがとてもわかりやすく、本当に引きこまれました。
- ・幅広い話で大変おもしろかった！有意義な時間でした。
- ・納富さんの話術がとてもたのしかったです。
- ・話しがわかりやすく、楽しかった。